

石油ストーブでの火災

事故の概要

【事例①】住宅がほぼ全焼し、1人が軽傷を負った。

【事例②】近辺の複数の住宅が全半焼し、1人がやけどを負った。

【事例③】住宅が全焼し、1人が死亡、1人が軽傷を負った。

事故の原因

【事例①】石油ストーブを消火せずに給油した際、タンクの口金が確実に締まっていなかったために灯油がこぼれて引火したものです。

【事例②】石油ストーブの上部に干していた洗濯物がストーブの上に落下したものです。

【事例③】石油ストーブにガソリンを灯油と間違えて給油したため、異常燃焼を起こしたものです。

【再現実験】



タンクから漏れた灯油が引火しました



上部に干した洗濯物に引火しました



ガソリンを使用すると発火しました



事故防止のために

◆給油の際は、必ず火を消してください。また、給油タンクの口金がしっかりと締まっているか確認してください。

◆ストーブの上部などで洗濯物を干さないでください。また、カーテンやふとんなど燃えやすいものの近くで使用しないでください。

◆間違えてガソリンを入れないでください。

◆換気を必ず行ってください。不完全燃焼によりCO中毒を起こし、死亡に至る可能性があります。

